

東日本大震災に対する日本小児外科学会の活動報告

日本小児外科学会 小児救急検討委員会 まとめ

日本小児外科学会では、2011年3月11日に発生した東日本大震災に対し、小児医療支援を中心に震災被災者への直接的な医療支援、震災被災地の医療施設に対する人的・物的な医療支援、震災被災地に対する長期的な後方支援の確立、を中心とした下記の活動を行った。

1. 見舞文の掲載

「この度の地震・津波災害について」と題する理事長名による御見舞文を日本小児外科学会ホームページ冒頭に掲示した。

2. 日本小児救急医学会 mailing list (ML) の日本小児外科学会への配信

2011年3月12日、日本小児救急医学会で東日本大震災支援特別委員会を立ち上げたことを受け、日本小児外科学会としても震災被災者への直接的な医療支援を目的に日本小児救急医学会と連携し活動を行うこととなった。日本小児救急医学会 ML に日本小児外科学会理事長および日本小児外科学会小児救急検討委員会担当理事・委員長・委員を加え、情報の収集・共有を行った。

3. 日本小児救急医学会からの支援要請への対応

日本小児救急医学会では、2011年3月18日から同学会の支援特別委員会の先遣隊の情報をもとに、陸前山田の避難所(陸前高田市立第一中学校)に継続的な小児医療の支援を開始した。また同学会の ML の医師宛てに、盛岡および医療支援の要望があった。日本小児外科学会からも近畿大学医学部奈良病の医師ら4名が20日間の小児医療支援に参加した。

4. 日本医師会からの JMAT 派遣への対応

2011年3月23日、日本医師会から被災地への支援として、各都道府県医師会が結成する日本医師会災害医療チーム JMAT 派遣について協力依頼の連絡があり、3月29日、日本小児救急医学会からの要請とともに、派遣先で事故に遭遇した場合の身分保障について、掲示板に情報を掲載し、日本小児外科学会の会員に対し日本医師会災害医療チーム(JMAT)への参加を促した。

5. 日本学術会議からの意見募集への対応

2011年3月25日、日本学術会議より学術としての震災への対応について意見を求められたのに対し、日本小児外科学会小児救急委員会で意見書を作成し提出した。

6. 厚生労働省からの要請への対応

3月25日、厚生労働省医政局指導課より日本小児外科学会における転院希望患者の受入窓口の情報提供を求められたことに対し、認定施設・教育関連施設に対し転院希望患者の受け入れ可能施

設問い合わせを行った。その結果を厚生労働省厚生労働省医政局に報告するとともに、4月8日に日本小児外科学会ホームページ上に37施設の「転院希望患者の受け入れ窓口情報」を掲載した。

7. 第7回日本小児医療政策研究会における発言

3月26日、第7回日本小児医療政策研究会「緊急フォーラム：東北関東大震災の復興に向けて～小児科医からの提言」に参加し、岩中 督日本小児外科学会理事長により災害発生からのこれまでの活動内容が報告され、今後の課題についての議論を行った。

8. 日本小児外科学会 HP への掲示板の設置

3月28日、各方面から得られた震災被災地の情報の提供と医療支援に対する情報を学会員の間で共有することを目的に、学会ホームページ上に震災用掲示板 (<http://www.jsps.gr.jp/member/imgboard.cgi>)を設置した。